

大学の学びを社会での「実践」に

大学は、社会と接続する最後の教育機会です。社会で評価されて、教育は初めて価値があります。研究も同じです。私自身、民間企業で新規事業開発に20年以上関わり、東大発ベンチャーを2社立ち上げてきました。研究成果が社会で評価されるかどうかを実験するためです。ゼミ生では、徹底して就職にこだわります。私たちの教育成果が社会に受け入れられるかは、「就職」で評価されます。清水ゼミのOBOGは、大手金融機関、シンクタンク、IT企業、不動産会社などで活躍しています。



清水千弘 (しみずちひろ)

データサイエンス(AI)・経済学×社会

社会で生きていくための知識・技量として、「データサイエンス」と「経済学」の基礎を学びます。そして、それらを使って社会での課題解決に向けての実践(福島県磐梯町・愛知県知立市等)とビジネスでの実践(清水の東大の研究室との共同研究企業でのインターン等)を通じて、実践力を修得していきます。

社会を正しく「デザイン」する

私たちの未来には、多くの困難が待ち受けています。気候変動によるリスクは急激に増大し、経済的な格差は固定化し、国内では人類が経験したことがない速度で進む高齢化と、人口減少に直面しています。このような人類・地球環境を取り巻く課題は、年々深刻化してきています。その中で、未来を正しくデザインする力が何よりも大切です。「デザインシンキング」を基盤としていきます。

- ✓ 2005～2015年まで麗澤大学に勤務。昨年よりAIビジネス専攻に参加しています。
- ✓ ブリティッシュコロンビア大学、シンガポール国立大学、香港大学、MIT、ケンブリッジ大学と共同研究を実施中です。
- ✓ 国際機関・日本政府・企業と共同研究を進めています。
- ✓ 子供3人。全員が麗澤瑞浪中学・高校を卒業しました。長男・長女が大学を卒業し、社会人。次男が大学3年生です。奥さんとは出身である岐阜県大垣市で0歳の時に知り合い、50年以上たちました。

ゼミの理念と進め方

- ✓ 技術進化が早い社会では、知識や技量は陳腐化していきます。生涯学び続けなければなりません。OBOGとともに生涯付き合うことが出来るゼミ生を募集します。

- ✓ 大学で何を学んだのではなく、何ができるようになったのかを大切にしたい。一つでも多くの方をできるようにして、「就職」という形で社会に接続していきたい。
- ✓ 清水ゼミの財産は、社会で活躍するOBOGです。共同指導していきます。